

この手紙は、認知症の人が、
主治医にあてたものです。

自分が人様にどのように思われて
いるか いつも心酸しています
きつと笑ひ者 になつてゐるのだと
と思ふとかなしくくろしくなります

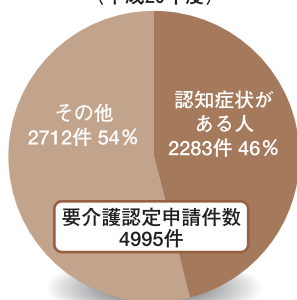
特集：認知症

安心して暮らせるまちに

初期の認知症は、外見だけでは分からないため、周囲の人が気づいていないことがあります。もしかしたら、隣の人が認知症で困っているかもしれません。

この手紙のように、軽度の認知症の人は、自分が今までとは違つてきていることに気づいています。周囲に認知症を理解する人が多くなれば、この気持ちを軽くしてあげられるのではないのでしょうか。

認知症状がある人の割合
(平成20年度)



● 認知症状がある人の割合
昨年度の要介護認定申請件数
4995件のうち、2283件
で認知症の症状があります。こ
れは、市内の高齢者の12人に1
人にあたります。

※高齢化率が、7%を超えると
「高齢化社会」、14%を超えると
「高齢社会」、21%を超える
と「超高齢社会」という。

安城市の状況 (10月1日現在)	
市の人口	17万9758人
65歳以上の人口	2万8472人
高齢化率	15.84%
(参考：高齢化率)	
国→22%超	
県→19%超	

■ 安城市のデータ
● 高齢者人口・高齢化率

現在、認知症の人は、全国で
169万人いると言われています。
その数も、今後20年で倍増する
ことが予想されています。